『継続は力なり』～なるならぬは　その努力と忍耐を　続けるかどうかにある～

学校だより

第11号　令和８年１月９日
三鷹中央学園三鷹市立第四中学校
三鷹市上連雀４－１８－７
TEL　0422-43-9141
FAX　0422-76-0672

やるべきことに集中

校長　平山公紀

２０２６年、令和８年が始まり、いよいよ３学期がスタートしました。冬休みは、心と体をゆっくり休め、家族や地域の中で過ごす時間を大切にできたでしょうか。

この冬休みに、印象に残っている出来事の一つが、箱根駅伝です。テレビで観た人も多いと思いますが、５区山登りの青山学院大学 黒田朝日選手の走りには、本当に驚かされ、大きな感動をもらいました。黒田選手は、普通では考えられない走りで、前を走る選手たちを次々と追い抜き、見事に大逆転で、青山学院大学を優勝へと導きました。

黒田選手は、レース後のインタビューで次のように語っています。

「自分のやるべきことに集中することができました。」

「仲間がいたからこそ、できた走りだと思います。」

とても印象に残る言葉でした。区間賞や周りからの評価を意識するよりも、自分のやるべきことに集中する姿勢、そして仲間への信頼があったからこその走りだったのだと感じました。

２学期の終業式では、みなさんに「これからの夢や目標を思い描いてほしい」という話をしました。黒田選手には、箱根駅伝で活躍する自分の姿、そしてゴール後に青山学院大学の仲間たちと喜び合う姿が、はっきりとイメージできていたのだと思います。

だからこそ、「自分は、チームは、何をしなければならないのか」「今、やるべきことは何なのか」がしっかりと見え、その一つ一つを、毎日の練習の中で着実に積み重ねてきたのではないでしょうか。その背景には、互いを信頼し合える仲間の存在もあったはずです。

新しい年を迎え、みなさんが目標を立てるときには、黒田選手の走りから学んだ「やるべきことに集中すること」「仲間を大切にすること」この２つを、ぜひ改めて考えてみてほしいと思います。大きな夢や目標に向かうためには、特別なことをするよりも、今できることを丁寧に積み重ねていくことが何より大切です。そして、その歩みを支えてくれるのが、仲間や先生、家族といった周りの人の存在です。

３学期は、今の学年の締めくくりであると同時に、次のステージへの準備期間でもあります。４月から始まる新しい学年、新しい自分の姿をしっかりとイメージしながら、一日一日を大切に過ごしてください。この３学期が、みなさん一人ひとりにとって、未来につながる充実した時間になることを願っています。

【保護者・地域の皆様へ】

新たな年を迎え、改めまして昨年は本校の教育活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も「みんなが輝く三鷹四中」のために、「チーム四中」として、引き続きお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

《清掃ボランティア》

１２月２５日(木)の午後に地域あいさつ清掃ボランティアを行いました。部活動ごとに参加者を募り、当日は１００人近くの生徒が参加しました。多くの生徒がいましたので、学区内を広範囲にわたってきれいにすることができました。加えて、生徒の明るい挨拶も飛び交い、地域への感謝を伝えることができました。

《2学期末　大掃除》

２学期の最後に行った大掃除では、各学級で普段できないところまで、力を入れて取り組みました。また、放課後に清美委員が教室のワックスがけを行い、保健委員も配膳台の汚れ落としを行いました。

新しい学習用タブレット端末等が配布されました

新しいタブレット端末で今までと変わったところを少しだけ紹介します。新しいものはＡＩ６というモデルです。充電ケーブル等の差し込み端子がＵＳＢ－ＴｙｐｅＣになります。イヤホンジャックがついていませんが、学校ではＵＳＢからイヤホンジャックに変換するプラグを使って、有線イヤホンを使用してもらいます。装着済のキーボード付カバーも本体と同じく補償対象となりますので、故障した際はまず教職員に伝えてください。タッチペンも三鷹市からの支給品です。要返却ですのでなくさずに管理しましょう。

毎号、三鷹中央学園各校の様子が分かるHPのQRコードを掲載します。ぜひ、各校の取り組みをご覧ください。

「第三小学校」

「第七小学校」

「第四中学校」